

「うつのみや学校マネジメントシステム」学校評価書（小学校版）

※ 網掛けのない部分が計画，網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童生徒像含む）

（1）基本目標

人間尊重の精神を基盤として，知・徳・体の調和のとれた，心身ともに健康で人間力豊かな児童の育成

（2）具体目標（具体的な児童生徒像など）

仲よく

- ・よく考える子ども …… 規範意識をもち，自ら考え，進んで学べる子ども
- ・思いやりのある子ども … 自他のよさに気づき，共に伸びようとする子ども

強く

- ・体力のある子ども …… 心身ともに健康で気力や活力に満ちた子ども

たくましく

- ・はたらく子ども …… 目標の実現に向けて粘り強く取り組める子ども

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

心身ともに健康で人間力豊かな児童の育成

子どもたちが心身ともに健やかに育つことをめざし，学校・保護者・地域が協同して，生き生きとした活気あふれる学校づくりに努める。そのため，人間尊重の精神を基盤とし，家庭・地域の教育力の活用を図りながら，高い指導力を備えた教師による豊かな教育活動を展開し，子どもたちの人間力を豊かに育成する。

3 学校経営の方針（中期的視点） 地域学校園内で共通する方針は，文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

（1）学習指導の充実

確かな学力を身に付け，実社会や実生活の中で活用できる力を育む教育を工夫・創造する。

（2）教師力の向上

教職員として使命感や誇りをもち，自己研鑽に励み，協働しながら教師集団の総合的な指導力を高め教師力の向上に努める。

（3）特別支援教育の充実

一人一人の教育的ニーズに応じた適切な教育を推進する。

（4）心身ともに健やかな身体の育成

健康で安全に生活できる能力を身に付け，気力や体力をはぐくむ教育活動の充実を図る。

（5）豊かな心の育成

自己有用感を高めるとともに，思いやりの心をもち，自他の生命を尊重する豊かな心を育む。

（6）人間力の育成

社会的自立の基礎を培い，社会の変化に対応しながら力強く生きぬく実践力・行動力を育成する。

※人間力：社会を構成し運営するとともに，自立した一人の人間として力強く生きていくための総合的な力

（7）信頼される開かれた学校づくりの推進

子どもは地域の中で育むという視点をもち，学校，家庭，地域との連携，協働を図りながら信頼される開かれた学校づくりを推進する。

（8）危機管理・環境整備の充実

子どもが安心して安全に過ごせる環境づくりに努めるとともに，落ち着いて生活できる潤いのある環境の整備を推進する。

4 今年度の重点目標（短期的視点） 地域学校園内で共通する方針は，文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

（1）学校運営

「明るく活気のある雰囲気の中で，子どもが生き生きと学習・活動する学校」

－ 明るく，楽しい，活気に満ちた学校 －

（2）学習指導

「互いに認め合い、学び合う集団の育成」

－ 学ぶ意欲を育て、基礎・基本を確実に身に付ける学習を基盤にして －

（3）道徳教育（児童生徒指導）

「互いのよさを認め，豊かな人間関係を築くことのできる児童の育成」

－ あいさつ運動，読書活動の推進を基盤として －

（4）健康（保健安全・食育）・体力

「自らの健康・体力に関心をもち，進んで体力の向上に励む児童の育成」

－ 休み時間の外遊び，プチトレーニングの取組を通して －

5 自己評価（A は共通評価指標、B は学校独自評価指標）

（評価指標の〔全〕は、全体アンケート実施）

（「主な具体的な取組の方向性」には、A 拡充 B 継続 C 縮小・廃止、を自己評価時に記入）

項目	評価指標	主な具体的な取組	方向性	評価
教育全体の状況	A1 学校は、活気があり、明るくいきいきとした雰囲気である。〔全〕 【数値指標】 全体アンケートの「私は、今の学校が好きである」 ⇒児童の肯定回答90%以上	① いじめの早期発見、早期解決のため、4月、9月、1月に学校生活アンケートを継続して実施する。 ② 相手を思いやる気持ちを育てる取り組みの推進のため、いじめゼロ強調月間に、児童が標語を作成・掲示したり、人権週間やいじめゼロ強調月間で全校集会を行ったりする。	B	【達成状況】 【次年度の方針】
	A2 教職員は、組織の一員として熱心に教育に当たっている。〔全〕 【数値指標】① 全体アンケートの「先生方は、大切なことを熱心に指導してくれる」 ⇒児童の肯定回答90%以上 【数値指標】② 全体アンケートの「教職員は協力し、児童のよいところを認め、考えるべきことを熱心に指導している」 ⇒保護者の肯定回答80%以上	① 児童理解を深めるため、6月と11月に教育相談週間を設定する。 ② 朝の学習の時間には、国語や算数を中心にプリントやドリルを活用した繰り返し学習の効果的な実施方法等について、職員間で共通理解を図りながら全校体制で取り組む。	B	【達成状況】 【次年度の方針】
	A3 児童は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしている。〔全〕 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、授業と生活のきまりやマナーを守って生活している」 ⇒児童の肯定回答80%以上	① 教職員間で生活目標の共通理解をさらに深め、毅然とした態度で児童にきまりやマナー、秩序を徹底指導していく。 ② 児童が自分の生活の様子をふり返る場や、きまりを守って生活している児童が賞賛される機会を設定する。	B	【達成状況】 【次年度の方針】

学校運営の状況	A4 教職員は分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い、学力の向上を図っている。〔全〕 【数値指標】 全体アンケートの「先生方の授業は、分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる」 ⇒児童の肯定回答90%以上	① きめ細かな指導の充実を図るため、指導形態の工夫や少人数による指導等を、多くの学年・学級で実施する。 ② 学力向上を図るため、さらに授業研究を重ね指導の工夫改善に取り組む。	【達成状況】 B 【次年度の方針】
	A5 日課、授業、学校行事など教育課程は、適切に実施されている〔全〕 【数値指標】 全体アンケートの「私の学校生活や様々な活動は充実している」 ⇒児童の肯定回答90%以上	協調性や思いやり、勤労意欲などを養うため、農園活動、福祉活動、縦割班活動などの体験活動を引き続き実施する。	【達成状況】 B 【次年度の方針】
	A6 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われ、開かれた学校づくりが進められている。〔全〕 【数値指標】 全体アンケートの「学校は、学校便りや学校公開などで、積極的に情報を発信・提供している」 ⇒保護者の肯定回答80%以上	宇都宮オープンスクール等の学校公開や授業公開については、本年度と同様に年間4回実施する。また、学校の取り組みについてより理解を深めてもらうため、月に1度は保護者に関する行事等を実施する。	【達成状況】 B 【次年度の方針】
	A7 学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った地域の学校づくりが推進されている。〔全〕 【数値指標】① 全体アンケートの「本校の保護者は、学校の教育活動などに協力的である」 ⇒保護者の肯定回答80%以上 【数値指標】② 全体アンケートの「学校は、家庭、地域、企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている」 ⇒教職員の肯定回答80%以上	① よりよい生活習慣の定着を目指し、特に長期休業中も家庭の協力を得られるよう「すくすくカレンダー」を活用した強化週間を設け、集中的に活用する。 ② 教育活動を充実させるため、地域教材や人材、学校支援ボランティアを活用した授業を計画的に実施する。	【達成状況】 B 【次年度の方針】

教育活動の状況	A8 校内は、学習にふさわしい環境となっている。〔全〕 【数値指標】 全体アンケートの「学校は、清掃が行き届き、学習しやすい潤いのある環境である」 ⇒保護者の肯定回答80%以上	① 清掃の仕方や用具の使い方・後始末の仕方など、清掃指導について教職員の共通理解を深め、指導の徹底を図る。 ② 落ち着いた学校生活を過ごすとともに、学習に生きる環境を整備するため、校内環境の在り方について、児童の視点から再度検討し、学校環境の整備・充実を図る。	A 【達成状況】 【次年度の方針】
	B1 教職員は学校の研究課題（学び合い）に関する研究に積極的に取り組んでいる。 【数値指標】 学校独自アンケートの「授業で、みんなと一緒にじっくりと考えながら勉強している。」 ⇒児童の肯定回答80%以上	授業の中に様々な学び合いの場を意図的に設定し、互いの学びを深め合える学習の実践に努める。また、保護者や地域住民へ、授業参観や学年だより等で子どもの学びの様子を知らせ、理解を得られるよう努める。	B 【達成状況】 【次年度の方針】
	A9 児童は進んであいさつをしている。 【数値指標】① 全体アンケートの「児童は、時と場に応じたあいさつをしている」 ⇒児童の肯定回答80%以上	児童会の計画委員会を主体とし、たすきを活用したあいさつ運動を継続的に行うとともに、集中的に指導を行う期間を定め、校内放送での意識付けを図る。また、若松原地域学校園としてさらに小中で協力し、あいさつ運動を継続・充実させる。	A 【達成状況】 【次年度の方針】
	A10 児童は、正しい言葉づかいをしている。 全体アンケートの「児童は、大人に対して適切な言葉づかいや返事をしている」 ⇒地域住民の肯定回答80%以上	言葉遣いについては、日常的にその都度指導を繰り返す。家庭にも学年・学級懇談や学年だよりなどを通して協力を呼びかける。	B 【達成状況】 【次年度の方針】
	A11 児童は、進んで運動する習慣を身に付けている。 全体アンケートの「児童は、休み時間や放課後などに進んで運動している」 ⇒児童の肯定回答80%以上	「すくすくカレンダー」の活用について家庭への周知の徹底を図るとともに、強化週間などを活用し、本校独自の「家トレ」の奨励を行う。	B 【達成状況】 【次年度の方針】

教育活動の状況	A12 児童は、栄養のバランスを考えて食事をしている。 全体アンケートの「自分の子どもは、好き嫌いなく食事をしている」 ⇒保護者の肯定回答80%以上	「お弁当の日」や「校内給食週間」等の機会を捉えて、食に関する意識の向上を図るとともに、食や健康の保持増進に関する授業を養護教諭や学校栄養職員と協力して実施していく。また、給食室と連携して、野菜の切り方を工夫するなど、楽しい給食作りを推進する。	B	【達成状況】 【次年度の方針】
	A13 児童は、進んで学習に取り組んでいる。 全体アンケートの「児童は、授業中に進んで話し合うなど、積極的に学習している」 ⇒児童の肯定回答80%以上	今後も、一人一人が主体的に思考・判断する力を育てるため、自分の考えをもち、互いの意見を聞き合い、考えを深め合うなどの「学び合う」活動を取り入れた授業を展開する。	A	【達成状況】 【次年度の方針】
	A14 児童は、落ち着いて学習に取り組んでいる。 全体アンケートの「児童は、授業中に進んで話し合うなど積極的に学習している。」 ⇒保護者の肯定回答80%以上	「基本的な学習態度の育成」に関しては、掲示物により児童への意識付けを図る。 個別の支援が必要な場合は、対応を検討するための話し合いを積極的にもち、各担当者間で連携して指導に当たる。 また、各学期始めや長期休業終了時に、各教室に学習態度等に関する重点目標を掲示するなどして、集中して指導を行う。	B	【達成状況】 【次年度の方針】
	B2 望ましい人間関係のもと、互いに協力し合いながら生活している。 【数値指標】 学校独自アンケートの「自分は、学校でだれとでも協力して生活している」 ⇒児童の肯定回答90%以上	継続して、生命や人権の尊重をテーマとした授業を行うとともに、縦割り班による活動をさらに充実させる。また、お昼の校内放送の「心の輪を広げようコーナー」、掲示板の「伝え合いコーナー」を継続し、児童の自己有用感を高めたり、異学年間で互いのよさを見つけ、協調して活動しようという意欲の向上を図ったりするなど、指導の工夫に努める。	A	【達成状況】 【次年度の方針】

本校の特色・課題等	B3 教職員は、家庭や地域と連携を図りながら、あいさつ運動に取り組んでいる。 【数値指標】 学校独自アンケートの「教職員は、家庭や地域と連携を図りながら、あいさつ運動に取り組んでいる」 ⇒保護者の肯定回答80%以上	引き続き、交通指導員さんや下校ボランティアの方々等に感謝の気持ちを表したり、校舎内外でのあいさつの輪を広げたりする活動を継続するとともに、校内の掲示物や授業参観後の懇談会やたより等であいさつに取り組む様子を保護者に知らせ、理解を得られるよう努める。	【達成状況】 【次年度の方針】
	B4 教職員は、児童の読書意欲を向上させるための取組を推進している。 【数値指標】 学校独自アンケートの「自分は、読書や調べ学習などで月20冊以上本を読んでいる」 ⇒児童の割合90%以上	朝の図書館開館を継続し、利用時間をより多く確保するとともに、朝の読書の時間を充実させ、読書の推進に努める。また、家庭での読書を奨励し、家庭の理解と協力を呼び掛けながら、多様なジャンルに親しませ、読書指導の充実を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】
	B5 教職員は、児童の人間関係力向上を目指して、縦割り班活動を推進している。 【数値指標】① 学校独自アンケートの「縦割り班活動で、多くの友達と楽しく活動している」 ⇒児童の肯定回答80%以上	リーダーである6年生を中心に、各学年の役割や協力の仕方を学ぶ場として縦割り班活動を充実させる。	【達成状況】 【次年度の方針】

〔総合的な評価〕

6 学校関係者評価

7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）